

科目区分	専門分野Ⅱ			科目番号	1003	曜日時間	不定期
授業科目	小児看護学援助論Ⅱ						
単位数	1 単位	時間	30 時間	開講時期	2年次後期	授業形態	講義
担当教員							
授業目的	小児に特有の小児疾患によりどのような機能が障害され、生活に影響をあたえるのかを理解し、小児疾患をもつ小児と家族の看護を学ぶ。						
中核	子どもの機能の障害と対応						
授業目標	1. 病気・障害の原因となる小児疾患に特有な病態・症状・診断・治療を学ぶ。 2. 小児疾患がどのような機能障害をおこし、生活に影響をあたえるのか理解できる。 3. 小児疾患により機能障害をおこしている小児と家族の援助方法を理解できる。						
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
	10	1. 染色体異常 2. 感染症（ウイルス） 3. 感染症（細菌・その他） 4. 呼吸器疾患・循環器疾患・消化器疾患 5. 呼吸器疾患・循環器疾患・消化器疾患 1. 新生児疾患 2. 代謝・内分泌疾患 3. 免疫・アレルギー疾患 4. 血液・悪性新生物疾患・腎疾患 5. 神経疾患・精神疾患（発達障害）・その他	講義	20			
	5	1. ハイリスク新生児と看護 低出生体重児の看護 2. 機能障害の原因となる疾患と看護 代謝性疾患と看護、内分泌疾患と看護、アレルギー疾患と看護、感染症と看護、消化器疾患と看護 呼吸器疾患と看護、循環器疾患と看護、血液・造血器疾患と看護、悪性新生物と看護、腎・泌尿器疾患と看護、運動器疾患と看護、感覚器疾患と看護 3. 事故・外傷と看護 4. 評価・まとめ	講義	10			
終了後課題							
評価計画方法	筆記試験、リフレクションノート、授業中の態度から総合的に評価する。						
テキスト参考図書	奈良間 美保他著：小児看護学②小児臨床看護各論，医学書院						
実務歴有							
講義への反映							
備考	A4サイズのリフレクションノートとクリアファイル（ポートフォリオ）を準備すること						